

桂離宮 日本の美 西川 孟

ノエビア銀座ギャラリーにて開催

2014年8月25日～10月31日



正吉の松より高砂の松跡および松琴亭望見



新御殿一の間土段・杜離



撮影/1972～1976年 浜道より天の橋立・松琴亭遠望

桂離宮

日本の美

西川 孟

西川孟は、京都の桂離宮や、西芳寺・龍安寺・伊勢神宮など、日本文化を象徴する建築や庭園を撮り続けた写真家です。なかでも写真集『桂離宮』（1977年）はその代表作といえます。「桂は日本の美の集大成」という西川は、約10年間、膨大な資料を読み、撮影に4年、のべ400日を費やしました。被写体を深く理解し凝視することから生まれた、圧倒的な存在感を放つ作品群。本展では、『桂離宮』から作品24点に加え、愛用のカメラ等を展示。日本人の美意識の真髓に出会える写真展です。

西川 孟(にしかわ もう) 1925-2012 大阪市生まれ



1961年、土門拳の「室生寺」の写真を見て感動し師事、土門の関西の仕事の助手をつとめる。『京の離宮』『角屋』『龍安寺』『西芳寺』『姫路城』『聖域伊勢神宮』など、日本美術史に燦然と輝く建築や庭園を被写体として写真集を多数刊行している。1977年、講談社から刊行された写真集『桂離宮』は、A3判(40×30cm)、400ページ、^{ちつ}挿入、定価59,000円の豪華本である。写真をダイジェストして翻訳した英・仏・独語版『KATSURA』も講談社インターナショナルから刊行され、これは「世界書籍展」でブックデザイン賞を受賞する。西川の撮影意図はこれらの建築や庭園を通して見えてくる「日本人の美しい心」という。『北京の看板』『甲骨文字』（『ひとものこころ』シリーズ）により、1988年、第7回土門拳賞受賞。

～ 桂離宮 日本の美 西川 孟～ 《入場無料》

会 期：2014年8月25日(月)～10月31日(金)
 開 催 時 間：午前10時～午後6時 (土・日・祝日は午後5時まで)
 会 場：ノエビア銀座ギャラリー (ノエビア銀座本社ビル1F)
 主 催：株式会社ノエビア
 お 問 合 せ：0120-401-001 (月～金/9:00～18:00 土・日・祝日除く)
 ノエビア銀座ギャラリーサイト <http://gallery.noevir.jp/>



東京都中央区銀座7-6-15

<マスコミの方からのお問い合わせ>

TEL 03-5568-0349 FAX 03-5568-0441 (株)ノエビア 広報・宣伝部 後藤・森山